

武蔵工業大学後援会誌

Mi-com

No. 21

2000-1



本学在学中、世界最高峰の二輪ロードレース選手権で活躍する
(250CCクラス'99世界ランキング4位)中野真矢くんが母校に凱旋。

第70回 MI-TECH祭で講演会を行い、
「世界」を舞台に戦う素晴らしさと厳しさを、熱く語ってくれました。



デジタルネットワーク社会の激動



後援会副会長 中山 安男

パソコンやインターネットなどの情報分野での技術の進歩は「日進月歩」ならず「秒進分歩」の勢いである。そして情報の蓄積や伝達方法のデジタル化は農業革命、産業革命

に匹敵する変革期であるといわれています。

情報通信ネットワークは、1835年モールスによる電信に始まり、1895年マルコーニによる無線電信の発明によって今日まで電話やテレビ等で我々の生活に大きな影響を与えてきました。

最近のデジタル技術の進歩により、レコード盤はCDに、カメラのフィルムやビデオテープはメモリへと記録する媒体の変化、さらにインターネットの普及やデジタル放送の開始等に見られるように情報ネットワークが高度化しつつあります。

このようなコミュニケーションの多様化は日常の生活面に大きな変化をもたらします。

デジタルネットワーク社会の特性は、空間・時間の制約を取り払い、情報発信コストを低廉化

し、同一の情報を多くの人で共有できるなどの特性を持っています。そして私たちに「多様な選択」と「自由な参加」の機会を与えてくれます。国境や時差を越えて情報が入手できるようになり、また自ら情報発信が簡単にできるようになりました。

文通は電通(e-mail)へ、チラシはホームページへと移行しています。このような流れは個人が主役となる社会が生成されつつあると思います。

今、弱者(消費者)が強者(企業)と対等に取引できる時代になりつつあると言われています。

私達は、好むと好まざるにかかわらず、「デジタルネットワーク社会」で生きていかなければなりません。

本格的なデジタル社会において溢れる情報、スピード重視の価値観の中での無機質になりがちなデジタル文化と人間性のバランスを取ることが必要であり、自然との触合いの時間を増やし、心を癒しながら人と人との直接的なたかい交流を大切にする文化の必要性を感じる今日である。

平成11年度
東京地区

「父母との連絡会」 密着取材レポート

今や武蔵工業大学にとって欠かせない恒例行事のひとつとなっている「父母との連絡会」。今年も7月18日の沖縄県那覇市を皮切りに、計24会場で開催されました。

ここではスケジュールの最後、9月25日に世田谷キャンパス（工学部）と横浜キャンパス（環境情報学部）で同時開催された東京地区の父母との連絡会の模様をレポートします。東京地区では「学内見学」という特別プログラムが用意されており、毎年多数のご父母が参加。今年も計609名の方が訪れてくださいました。



▲体育館で行われたマンドリンコンサート

・・・・・・・・・・ 台風一過の好天に恵まれてスタート ・・・・・・・・・・

東京地区の父母との連絡会の前日、関東地方には台風が襲来。一時は開催が危ぶまれるほどでしたが、朝になってみれば典型的な台風一過の好天に恵まれ、真夏を思わせる陽気の中での開催となりました。参加していただいたのは、東京、神奈川、千葉、埼玉のご父母の方を中心に、世田谷キャンパスは510名、横浜キャンパスは99名。それぞれお子さまが通うキャンパスで参加する形となりました。まずは世田谷キャンパスの模様からレポートしてみましょう。

世田谷キャンパスでは、最初にキャンパス内のさまざまな施設やエリアを見て回る学内見学からスタートしました。見学コースは「機械・機械システムコース」「電気・通信・情報コース」「建築・土木コース」「経営・エネルギーコース」の4つから選ぶことができ、それぞれ約15名ずつが1グループとなり、大学教職員の引率によって出発します。このコース分けは学科と対応しており、お子さまが籍を置く学科に合わせて選んでいただくと、日頃どのような勉強を行っているのかがよりリアルに把握できる趣向となっています。なお、見学で回る施設の説明は基本的に引率の教職員が担当していますが、場所によってはそこで研究活動が続ける大学院生が説明役をする場合も…。慣れない大役を任されて汗をかきながら奮闘する彼ら、そしてそれを温かい表情で見守るご父母の図は、今や毎年おなじみの光景とも言えるでしょう。

学内見学は、いずれのコースとも最後に9号館の学生食堂を回ることにしています。その頃にはちょうどお昼時。日頃学生たちの旺盛な食欲を満たしている学食の味を知る絶好の機会というわけです。当日のメニューはカレーライス。ボリュームを持て余す方もいたようでしたが、味のほうは好評のよう。またこの昼食タイムを使って、体育館ではマンドリンクラブによるコンサートが催されました。

午後1時からは全体説明会が行われました。学長からは本学の近況報告、工学部長からは工学部教育の目的説明、そして後援会長からの挨拶、最後に就職連絡協議会議長から本学の就職状況ならびに就職指導についての説明が行われました。各講演者の話はいずれも熱がこもり、そのせいかご父母の方々の表情も真剣そのもの。とくに慢性的な就職難の時代を反映してか、就職連絡協議会

議長の話の際には、メモを取られる姿も会場のあちこちで見かけました。

この全体説明会の後には各学科・学年別の懇談会となり、その後、希望者には個人面談も行われました。

●●● 情報処理機器の豊富さに驚かれる姿も ●●●

さて横浜キャンパスの「父母との連絡会」のほうですが、こちらは全体説明会からスタート。こちらの講演者は、学長、環境情報学部長、後援会長、教務委員長、就職担当教員の5人。環境情報学部は設立されてまだ

3年目だけに、参加されたご父母の最大の関心事は、この学部で子供たちが学んでいること、そして学んだことを将来どの分野で生かせるのか、といった点にあったのではないのでしょうか。説明会後の和やかな会場の雰囲気を見たかぎり、各講演者の話のご父母の不安を解消するに十分、充実した内容となっ



▲堀川学長



▲堺工学部長



▲受付風景 (横浜)



▲構造実験棟 (世田谷)



▲建築製図室 (世田谷)



▲音響研究室 (世田谷)



▲学食でカレーライスを試食 (世田谷)



▲個人面談 (横浜)

参加された ご父母のコメント

世田谷
キャンパス



■機械システム工学科2年 中山義明さんの両親
横浜から来ました。学内見学は昨年と違うコースでしたね。とても熱心に説明してくださり、いろいろと参考になりました。ただ今回は台風のせいか、気温が異常に高かった。これが少し辛かったです。来年もぜひ参加しようと思っています。

横浜
キャンパス



■環境情報学科3年 青山高也さんのお父さん
2年前に来たときはまだ動きだしていない状態でしたが、今日は学内に躍動感があることに気がきました。キャンパスの人間と施設が本格的に機能し始めたんですね。学食のカレーは、街のカレー屋さんと比べて遜色のない味でしたよ。

ていたようです。

説明会後は学内見学の時間です。皆さまパンフレット等で、学内の雰囲気や多少は把握していたつもりでしたが、やはり実際に訪れてみると印象はかなり



▲五股後援会長



▲石川就職連絡協議会議長

違っていた様子。最新の情報機器を豊富に備えた情報メディアセンターをはじめ、教育の最先端

を行く施設を目のあたりにして驚かされている姿をそこかしこで見かけました。

その後、学食の試食タイムを経て、午後からはクラス別懇談会を実施。各クラスとも盛んに質問が飛びかっており、ご父母の皆さまの本学の教育に対する期待の高さを改めて実感しました。

こうして東京地区の「父母との連絡会」は幕を閉じました。お子さまの学ぶキャンパスで過ごす1日は、参加された皆さまにとって非常に有意義なものであったことでしょう。都合により今年は参加することのできなかったご父母の皆さま、来年こそぜひお待ちしております。

世田谷
キャンパス



■機械システム工学科1年 市澤寿樹さんの両親
学内見学で回ったコースが、機械工学科寄りだったのが残念でしたが、歴史あるキャンパスの雰囲気には関心しました。機械システム工学科にはまだ卒業生がいないので、就職に若干の不安を感じますが、先輩方の動向に期待しています。

世田谷
キャンパス



■経営工学科3年 野口 圭さんの両親
都心の住宅街にある大学にしては、キャンパス内に緑が豊富ですね。さきほど学食をいただきましたが、量・値段ともに満足しました。子供は就職・進学で悩んでいるようなので、午後からの説明・懇談会を参考にしたいと思っています。

世田谷
キャンパス



■機械工学科4年 加藤 渡さんのお父さん
長野から来ました。松本でも説明会がありましたが、実際に大学まで行ったほうがいいと毎年世田谷まで来ています。説明会は例年同様でいいでしたね。高校生の娘と一緒に連れてきましたが、いろいろと新鮮な刺激を受けたと思います。

世田谷
キャンパス



■経営工学科2年 小田亜樹さんのお父さん
初めて大学を訪れましたが、いい意味でごんまりととまり、好感が持てました。学生の雰囲気も浮ついたところがなく、安心です。娘の兄は国立大学に通っていますが、施設面はこちらの方が上。本当に恵まれた環境ですね。

横浜
キャンパス



■環境情報学科3年 保田香織さんの両親
大田区から来ました。妹の大学のまわりにも山があつて自然が豊かなんですが、ここも周辺の環境が非常にいいですね。学食でカレーをいただきましたが、サラダ付きとはいうものの、450円は学生には少し高いかもしれませんね。

横浜
キャンパス



■環境情報学科3年 井貝絵里さんのお母さん
コンピュータの数の多さにびっくりしています。相当な数ですね。キャンパスの美しさにも感心しました。また、学食では食器や残飯の分別、ゴミの分別回収などが行われており、この学部らしくてさすがだなと思いました。

横浜
キャンパス



■環境情報学科2年 関口敏彰さんの両親
いやー近代的なキャンパスですね。月並みな表現ですが、勉強するにはいい環境ですね。ただ昨年は先生がキャンパス内を案内してくれたんですが、今年は残念がらなし。遠方から来た人のためにもっていい説明があると良かったです。

横浜
キャンパス



■環境情報学科1年 永原龍典さんのお母さん
情報メディアセンター内の情報機器の充実ぶりに圧倒されました。ただあれらがどのような勉強に結びつくのか、説明が少なかつたため深く理解できなかったのが残念。併設される図書館にはさまざまな分野の本が蔵書されているんですね。

横浜
キャンパス



■環境情報学科1年 青柳佑典さんのお父さん
息子がISO学生委員会に入っているので、建物については興味深く見学させてもらいました。最先端機器を豊富に装備しているのは素晴らしいですね。この大学を出て将来息子がどのような道を進むのか、非常に期待しています。

平成11年度の就職動向

就職協定の廃止3年目を迎え、今年度の就職戦線は、国内の景気が足踏みを続ける中、「早期化」「厳選化」「多用化(自由化・個別化)」がますます進み、セミナーの開催や採用選考の日程が前年度より若干の前倒し傾向、また職種別・事業部別採用など、より専門性が問われる個別採用手法が増加しています。さらに、企業の新卒採用予定数が、99年度実績比で19.6%減(全国全学部平均)と2年連続で2ケタ減少となる見通し(日本経済新聞社調べ)となっております。

本学においてもこの影響を受け、求人数が大幅に減少しました。12月1日現在の求人数を前年度と比較してみると、工学部34.2%減、大学院30.7%減となっており、過去最低の求人数となりました。文系に比較して、求人数が多かったこともありますが、本学に限らず他大学理工系も含め大幅に減少しており、就職希望学生にとって

は、'95'96年の「就職超氷河期」を凌ぐ厳しい状況となりました。

このような状況の下、本学学生の就職活動も苦戦を強いられましたが、12月1日現在の就職希望者における内定率は、工学部89.5%(前年92.7%)大学院88.6%(前年96.1%)となっております。

今後の見通しとしては、依然厳しい状況で明るい要素はありません。企業の採用意欲は抑制基調であり、優れた人材の確保のため早期化傾向は継続され、厳選採用はさらに強まると思われます。従って、大学生活の中から自分の能力・適性・興味などを早い時期から分析し、将来設計と仕事を結びつけながら“個人そのもの”を形成していくことが最も重要なポイントです。就職活動に際しては、基礎・専門知識の習得は勿論のこと、筆記・面接試験対策(プレゼンテーション、コミュニケーション)など、知的水準の能力の向上と意欲が肝要です。

●平成11年度求人就職内定状況

(平成11年12月1日現在)

学科・専攻	項目	就職希望者	内定者	内定率(%)	求人企業数	1人当たりの企業数	求人数	1人当たりの求人数	進学希望者	進学決定者
工学部	機械工学科	170	157	92.4	2,428	14.3	5,058	29.8	70	58
	電気電子工学科	86	78	90.7	2,561	29.8	5,305	61.7	86	84
	電子通信工学科	98	86	87.8	2,201	22.5	4,695	47.9	49	39
	建築学科	85	63	74.1	1,887	22.2	4,126	48.5	39	33
	土木工学科	86	83	96.5	1,931	22.5	4,158	48.3	30	26
	経営工学科	95	84	88.4	1,826	19.2	4,014	42.3	16	14
	小計	620	551	88.9	12,834	20.7	27,356	44.1	290	254
大学院工学研究科	機械工学専攻	35	34	97.1	995	28.4	1,973	56.4	2	0
	生産機械工学専攻	20	17	85.0	934	46.7	1,891	94.6	0	0
	電気工学専攻	86	84	97.7	1,114	13.0	2,157	25.1	3	2
	建築学専攻	39	24	61.5	735	18.8	1,574	40.4	0	0
	土木工学専攻	14	13	92.9	730	52.1	1,550	110.7	2	1
	経営工学専攻	19	17	89.5	752	39.6	1,589	83.6	1	0
	原子力工学専攻	6	5	83.3	666	111.0	1,444	240.7	0	0
	小計	219	194	88.6	5,926	27.1	12,178	55.6	8	3
	合計	839	745	88.8	18,760	22.4	39,534	47.1	298	257

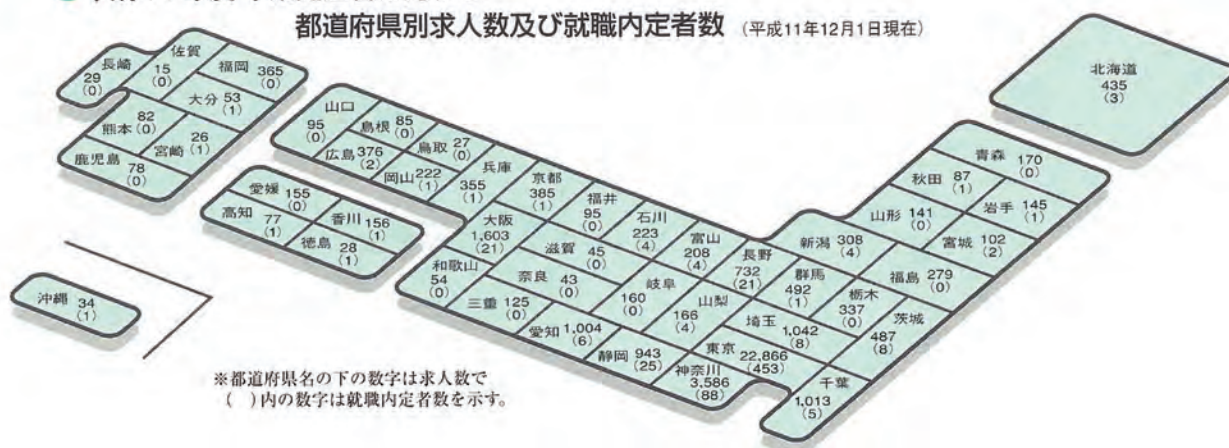
●就職・進学活動スケジュール

〈工学部〉

学年 進路先	2年生(進路を考える)	3年生(進路についてより具体的に考える)	4年生(就職・進学活動の本番です)
公務員等	4~6月 ●公務員試験模試 11月 ●公務員ガイダンス及び講座説明 12月 ●公務員試験受験対策講座 12~3月 ●公務員試験模試	4~6月 ●公務員試験模試 11月 ●公務員ガイダンス及び講座説明 12月 ●公務員試験受験対策講座 12~3月 ●公務員試験模試	4月 ●公務員ガイダンス 4~6月 ●公務員試験模試
民間企業		10月 ●各学科就職ガイダンス(第1回) ●適性検査(職業適性・情報処理適性) 11月 ●Uターン就職ガイダンス(第1回) ●就職講演会(就職活動全般) ●自己分析 ●(エントリーシート・論文文) ●(女子学生) ●就職試験対策(SPI・論文文) 11~1月 ●自己分析・筆記試験対策 ●業界・企業研究、エントリー 12月 ●就職試験対策(一般常識) 2月 ●各学科就職ガイダンス(第2回) ●就職試験対策(一般常識・SPI・履歴書) ●模擬面接 3月 ●就職試験対策(SPI) ●学内企業研究会 ●Uターン就職ガイダンス(第2回)	4月 ●各学科就職ガイダンス(第3回) ●就職試験対策(模擬面接) ●学内での希望調査及び推薦者決定 4~6月 ●採用試験(3月から開始の企業あり) ●採用内々定 10月 ●採用内定 ●学内での採用内定報告手続
本学大学院進学		4月 ●進学予定者対象の進学説明会 ●図書館などで大学院の各専攻内容 や入試問題等を検討	4月 ●進学予定者対象の進学説明会 5月 ●推薦入学募集要項入手・願書提出 6月 ●推薦入学試験 8月 ●学生募集要項入手・願書提出 9月 ●第1次入学試験 2月 ●第2次入学試験
他大学 大学院 (海外留学)		7月~ ●他大学または留学先より資料を取り 寄せ情報収集活動	4月 ●指導教授と相談の上、進学先の検討 ●入学試験

●平成11年度卒業見込者に対する

都道府県別求人数及び就職内定者数 (平成11年12月1日現在)



●平成11年度就職内定先企業／資本金順上位50社

企業名	就職人数
日本電信電話(株) ……5	日本電気(株) ……5
東京電力(株) ……1	シャープ(株) ……1
ソニー(株) ……2	日産自動車(株) ……6
トヨタ自動車(株) ……1	松下電器産業(株) ……1
中部電力(株) ……1	東日本旅客鉄道(株) ……2
(株)日立製作所 ……9	積水ハウス(株) ……1
(株)東芝 ……4	三菱電機(株) ……3
三菱重工業(株) ……4	三洋電機(株) ……1
東北電力(株) ……1	キヤノン(株) ……3
富士通(株) ……4	(株)NTTデータ ……2
東京瓦斯(株) ……1	日本アイ・ビー・エム(株) ……1
マツダ(株) ……1	京セラ(株) ……1
大和ハウス工業(株) ……1	凸版印刷(株) ……2
(株)リコー ……1	大成建設(株) ……5
本田技研工業(株) ……7	スズキ(株) ……2
(株)熊谷組 ……2	富士重工業(株) ……2
清水建設(株) ……1	キヤノン販売(株) ……1
沖電気工業(株) ……5	日本テレコム(株) ……1
東武鉄道(株) ……1	セコム(株) ……1
石川島播磨重工業(株) ……2	鹿島建設(株) ……1
ミネベア(株) ……4	いすゞ自動車(株) ……1
(株)フジタ ……1	(株)大林組 ……1
(株)バイオニア ……1	(株)フジクラ ……1
SMC(株) ……2	オリンパス光学工業(株) ……2
東芝テック(株) ……1	(株)丸井 ……1

〈環境情報学部〉

学年	2年生 (進路を考える)	3年生 (進路についてより具体的に考える)	4年生 (就職、進学活動の本番です)
公務員等	9～12月 ●公務員受験講座 ●教養試験対策講座 ●専門試験対策講座	9～12月 ●公務員受験講座 ●教養試験対策講座 ●専門試験対策講座	4～6月 ●公務員試験模試
民間企業	4月 ●就職ガイダンス (就職準備) ● (就職試験対策) 11月 ●就職講演会 (就職準備) 12月 ● (適職発見) 1月 ●職業適性検査 2月 ●簿記講座 (予備講座)	4月 ●就職ガイダンス (就職準備・試験対策) ●簿記検定講座 (4～6月) 5～6月 ●就職試験対策 (SPI・一般常識) ●適性検査 (情報処理) 7月 ●就職講演会 (人事が求める学生像) ● (業界・企業研究) 9月 ●就職試験対策講座 (SPI・一般常識) ●就職ガイダンス (諸手続) ●就職講演会 (インターネット活用法) ●職業適性検査 (編入生対象) 10月 ●個別面談 (就職希望者全員) ●就職講演会 (就職活動全般) ● (女子学生) ● (自己分析) ● (エントリーシート・論文文) 10～12月 ●業界研究セミナー (約30社) ●論文文講座 11月 ●履歴書作成実践対策講座 ●就職試験対策 (SPI・一般常識) 12月 ●面接対策セミナー ●就職ガイダンス (諸注意) 2月 ●論文文講座 ●履歴書作成実践対策講座 ●就職試験対策 (SPI・一般常識) ●学内企業研究会 ●模擬面接講座	4月 ●各学科就職ガイダンス ●学内での希望調査及び推薦者決定 4～6月 ●採用試験 (3月から開始の企業あり) ●採用内々定 10月 ●採用内定 ●学内での採用内定報告手続
本学大学院進学			4月 ●進学予定者対象の進学説明会
他大学大学院 (海外留学)		7月～ ●他大学または留学先より資料を取り寄せ情報収集活動	4月 ●指導教授と相談の上、進学先の検討 ●入学試験

絵で見る 工学部 3号館(五島記念館)の巻 キャンパスSPOT ⑥

世田谷キャンパスの正門から入ってすぐのところに建つ重厚かつ洗練された雰囲気のある建物。それが平成6年3月に完成した工学部3号館(正式名称は五島記念館)です。地下1階・地上4階建てとなっており、真ん中に吹き抜けのアトリウムを持つところが大きな特徴。アトリウムの中心には本学の発展に多大な貢献をした「五島慶太翁」の胸像が建立されています。各階には電気電子工学科、電子通信工学科、電子情報工学科の各研究室・実験室が設けられ、そのことから学生たちの間では「武蔵工大のシリコン・バレー」とも呼ばれているようです。さて実際に建物の中はどのようなになっているのでしょうか？



3号館(五島記念館)の各学科研究室一覧

●電気電子工学科

電子物性研究室
計測制御研究室

●電子通信工学科

電子回路研究室
電子デバイス研究室
音響情報研究室
電波研究室
医用システム研究室

●電子情報工学科

自動制御研究室
言語情報処理研究室
情報通信研究室
気体エレクトロニクス研究室
画像工学研究室

音にこだわってます!! 音響情報研究室



▲人間の聴覚や楽器、音響材料などの音響特性、残響室における音響効果など、音響の各分野を研究しています。教授を含めてのわきあいとした雰囲気ウリ!

音楽やオーディオに興味のある人にとっては最高の環境!
(安田雄一君・電子通信4年)



▲わずかな音でも反響するように作られている「残響室」。まるでトンネルの中にいるよう。

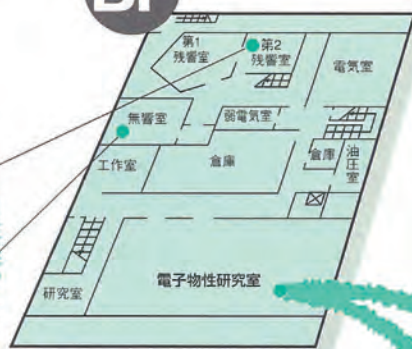


▲こちらは音がまったく響かない「無響室」。慣れないうちは耳がヘンになったような気分です。

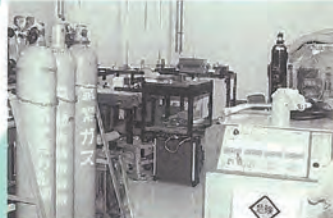
▲人間の頭部のカタチをした録音機。耳の部分にマイクをつけて録音するため、よりナマの音に近い音が録れます。



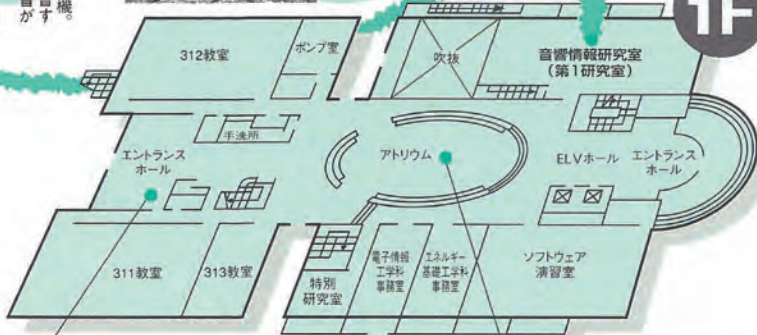
BF



個性的な人材ばかり? 電子物性研究室



▲光通信の研究を行っている部屋。ホコリを嫌う機器が多いため、研究室内は土足厳禁となっています。

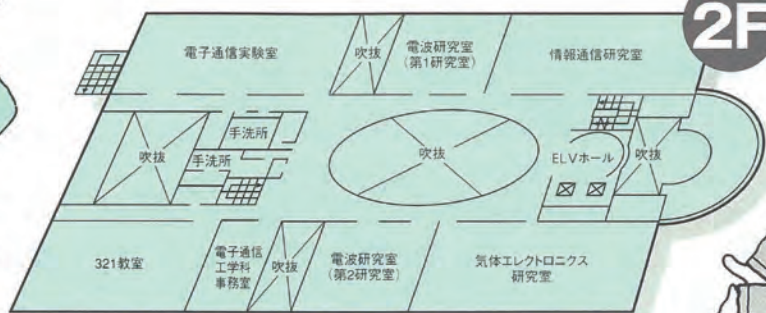


▲第2次大戦中、東京に墜落したB29の巨大なエンジンを展示!

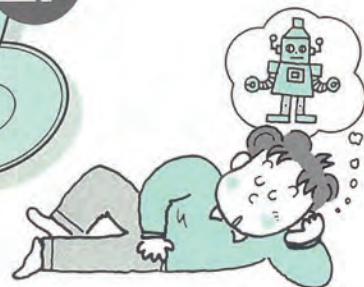


▲天気の良い日のアトリウムは、絶好の息抜き場。授業の合間、多くの学生がここで休んでいます。

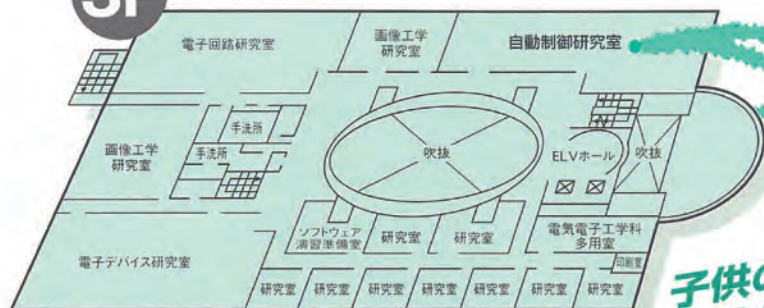




2F



3F



子供の頃の夢を現実にし!!
自動制御研究室

ロボットを動かしたい
という夢がボウらの
原動力です。
(塩崎倫康君・電気電子4年)



▲企業からの内定を獲得したことを報告する貼り紙がズラリ。
これも研究を頑張った成果かも…



▲障害物を感知させるセンサーを付けたマウスロボットを動かしているところ。



▶研究発表の時期が近付くと泊まり込みはザラ。好きな分野のことだから頑張っちゃうんです。

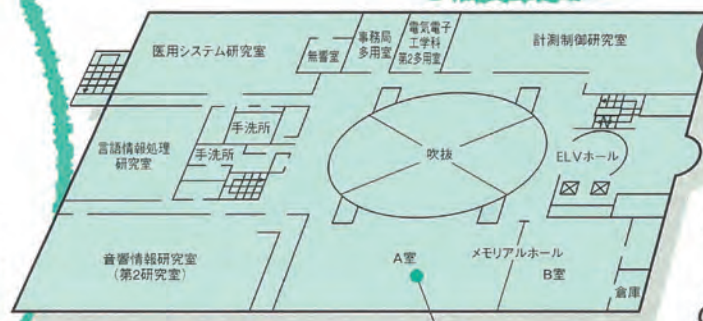


▶担当教授の指導方針により、研究室の学生はマウス、ユツクス、ウィンドウズなどすべてのパソコンを使こなせます。

研究結果や技術は、
後輩にしっかり
受け継いでもらいたいです。
(齋藤豊君・電気工学専攻)



LSIの設計ができる
研究室は全国でも
希少なんですよ。
(小山慎吾君・電気工学専攻)



4F

▲浄水器を発見。とはいえ飲むためではなく、LSI部品の表面の汚れを落とすために使用しているそうです。



▲会議や各種式典の会場として、また研究発表の場としても活用されている「メモリアルホール」。マルチメディアネットワークを装備しています。



クラブ活動紹介-①⑦

かたや40年近くの歴史を誇り、今年度はEブロック昇格という過去最高の成績を残した「ゴルフ部」。かたや創設して3年目ながら、環境情報学部にあるサークルの中でいちばん精力的に活動していると噂される「フットサル・サークル」。今回はこの2団体にお邪魔し、日頃の活動内容や今後の目標などを聞きました。

【ゴルフ部】

快進撃！ 関東学生ゴルフ連盟Fブロックで優勝！



顧問：永井正幸 教授
会長：福岡大城（経営工学科3年）
会員数：20名（内女子1名）

最大の問題、活動費は 練習場やゴルフ場での労働で捻出

学生の身分でゴルフを楽しむなんて贅沢……そんなふうを感じる方もいらっしゃるかもしれません。たしかにゴルフは何かとお金がかかるスポーツです。

練習場での打ちっぱなしにしろ、コースに出るにしろ、一般的な学生の小遣いやアルバイト代だけではとても間に合わないでしょう。だからといって武蔵工大ゴルフ部の面々が、他の学生と比べて特別金銭的に恵まれた環境にいるわけではありません。ではいったい、彼らはどのように活動費を捻出しているのでしょうか？

「実は日吉（神奈川県）にある日吉練習場さんや飯能（埼玉県）にある東都飯能カントリークラブさんなどにお世話になっ



▲唯一の女子部員である杉崎明子さん（機械工学科3年）

ているんです。日吉練習場では玉拾いをする代わりに打ちっぱなしの練習料金を安くしてもらってますし、東都飯能カントリークラブでは午前中にキャディのバイトをする代わりに午後からコースをタダで回らせてもらっています。つまり、金銭の不足を労



▲一本気だけどやさしいところもある主将の福岡大城君

働で補っているわけですね。キャディのほうは1万円のバイト代も出るので、これはありがたい活動費に回しています」

そう語るのは主将の福岡大城君（経営工学科3年）。なるほど、なかなか賢い作戦です。これなら

各々の道具代や移動費ぐらいの出費で済むわけです。ちなみに練習場やゴルフ場にはクルマで移動することが多く、その場合は1台に何人もが乗り合わせるかたちをとっており、ここでもなるべく出費を抑えるための努力をしています。

練習日は基本的に水、土、日。水曜日は日吉練習場へ、土、日は東都飯能カントリークラブへ出掛けることが多いそうです。もちろん、合宿も頻繁に行っており、今年度は日頃お世話になっている東都飯能カントリークラブでの2度にわたる長期合宿をはじめ、大会会場となったゴルフ場や、OBが経営する長野のゴルフ練習場などでも短期合宿を行いました。



▲不言実行の人、澁江恵一朗君（環境情報学科3年）

“入部して良かったと思える部に”
その目標が過去最高の成績をもたらした

武蔵工大ゴルフ部の充実した練習の成果は、今年度きちんと結果になって残りました。彼らは関東学生ゴルフ連盟に所属しているのですが、その中で今までの定席であったGブロックから一挙にEブロックへ昇格を果たしたのです。

ちょっと補足の説明をしておきましょう。

関東学生ゴルフ連盟が開催する大会は毎回2日間にわたって行われます。登録できるメンバーは8人。その中から選出された6人のメンバーが18ホールを回り、うち上位5人の成績を1日ごとに合計します。そして1日目の合計と2日目の合計をプラスしたものがその大学の成績となります。6人のメンバーは1日ごとに入れ替えることができ、武蔵工大の場合、そのあたりの判断を主将の福岡君が行っています。

戦うブロックは今までの成績によって決められ、Aから順にGまでの7つに分かれています。各ブロックには8校ずつが所属し、大会でブロック中の2位までに食い込めば上位ブロックに昇格できるシステムとなっています(逆に下位2校は下位ブロックに降格)。

▲一見クール。実は……の菊地正信君(機械工学科2年)

今年度の武蔵工大ゴルフ部は例年以上の奮闘を見せ、5月に風月カントリークラブ(栃木県)で行われた大会において見事にGブロック準優勝を果たし、続く8月の矢板カントリークラブ(栃木県)の大会では、なんとFブロック優勝の栄冠に輝いたのです!



▲マルチプレイヤーと評される、副将の瀬戸宏君

「これにより、来年度の武蔵工大ゴルフ部はEブロックからのスタートが決定。『サークル時代を含めると40年近くの歴史がある部なのですが、その中で過去最高のポジションと聞いています。ボクが入部してから以降格こそあったものの、昇格したこととはなかった」と副将の瀬戸宏君(エネルギー基礎工学科3年)が語るとおりの快挙なのです。このニュースはゴルフ部OBを相当歓喜させたようで、部員のもとに多くのお祝いの電話が入ったり、何よりOB会でかなりの盛り上がりを見せたとか。

「今までと比べてボクたちの代のレベルが突出しているとは



▲川島健良君(電子情報工学科2年)は部の重鎮的存在



▲ミステリアスな魅力の出口季之君(環境情報学科3年)



思いません。高校時代から本格的にゴルフをやっていたような者はほとんどいなくて、むしろレベルはどうしようもないくらい低かった(笑)。でもだからこそ、みんながなんとかしなくちゃと発奮し、それが結果的に好成績に結びついたんだと思います。あとは「筋トレ」などの基礎練習を各自に任せ、みんなが集まったときはとにかく実戦的な練習にこだわったのも良かったかも」。そう主将の福岡君は快進撃の理由を振り返ります。また、ゴルフ部の主務を行っている堀内正雄君(エネルギー基礎工学科3年)は次のように語ります。



▲面倒な諸手続きを文句も言わずに行った堀内正雄君

「主将の福岡がまず目標にあげたのは、成績の向上ではなく『入部して良かったと思える楽しい部活にしよう』ということ。ボクらはそれを盛りたててきたわけですが、それが良かったんじゃないかな。その目標により練習も充実したし、何より部内に最高のチームワークが生まれましたから。優勝はそのオマケみたいなものです」

実際、武蔵工大ゴルフ部のアットホームな雰囲気は取材し



▲期待のルーキー! 阿部真也君(機械工学科1年)

ているこちら側にも十分伝わってきました。合宿は長いときで2ヵ月近くにも及び、その間、部員同士は寝食を共にしているわけですから、こうした和やかな雰囲気は合宿の充実に大きく貢献したはずです。

「次の代の部員たちがどんな目標を掲げるかわかりませんが、いまの部の雰囲気なら、その目標に向かってすぐに一丸になれると思う。期待しています」。福岡君は取材の最後にそう語ってくれました。私たちが武蔵工大ゴルフ部の今後の活躍に大いに期待しましょう。

着々とメンバーが増え、各種大会にも積極的に参加！



顧問：横井 利彰 助教授
会長：望月 優生（環境情報学科3年）
会員数：33名（内女子4名）

サッカー好きの仲間が集まって、 何もなかったところからのスタート

皆さんは「フットサル」というスポーツをご存じでしょうか？ ルールはサッカーによく似ていますが、プレイするフィールドは4×11mとかなり狭く、ほぼバスケットボールコートと同じくらいの広さ。キーパーを入れて各チーム5人



▲練習熱心で好プレイ連発の湯沢 安樹君（環境情報学科3年）

ずつのプレイヤーが、ハンドボールよりやや小ぶりでありあまり弾まないボールを使ってゲームします。発祥はブラジル。海岸の砂浜で遊びとして行っていたサッカーが、その後ルールを整えてフットサルになったようです。サッカーの場合、広いグラウンドを確保したり、両チーム合わせて最低でも22人ものプレイヤーを揃えたりといったことがたいへんですが、フットサルならもっと容易にゲームを楽しむことができます。このあたりの気楽さが受けて年々フットサル人口は増えており、各地で大会も盛んに催されているようです。

武蔵工大のフットサル・サークル「Woods Bear」は、今年で創設3年を迎えました。環境情報学部でサッカー好きの学生たちが、新学部ができた早々に集まって作り上げたサークルです。サークル創設の際、大学側に提出した書類には以下のように団体結成目的が記されています。

“フットサルを通じて団体内および他校との交流を深め、積極的に大会などに参加しながら技術の向上を目指すとともにコンピュータで疲れた目を癒すことを目的とする”

意気込みとユーモアが交錯する、いかにも現代の学生らしい決意表明と言えるでしょう。ゼロからのスタートにも

かわらず、彼らはこの名文(?)どおりの積極的な活動を受け、現在は男子33名、女子マネージャー4名のメンバーを擁する大所帯に成長。“環境情報学部に本拠地を置くサークルの中でいちばん活発”という評価を得ています。

「1年のときに仲のいい連中が集まったとき、サッカー経験者が多いことに気づいたんです。プレイコートは狭いし、じゃあフットサルでもやってみようか、ハヤリだし……というのがウチのサークルの出発点。最初はみんなそれほどマジメな活動はしていなかったんですよ。でもそのうち下級生が入ってきて、こりゃあ本腰入れてやらなきゃばいと思いはじめた(笑)。女子マネージャーが途中で入ってきたのも大きいかも」。

そう語るの、創設メンバーの一人である加納一郎君（環境情報学科3年）。会長の望月優生君（環境情報学科3年）は



▲影のボスといえばこの人。加納一郎君は副会長を務めました



▲会長の望月優生君は、仲間からの信頼が厚い良きリーダー

サークルとしてはまだまだ過渡期にあると考えているようで、次のように語ります。「年間の大まかなスケジュールは決まっていますが、出来て3年目ですから、細かいところはけっこう行き当たりばったり。そのつど何をやるか考えている感じです。親睦会だけは充実しているんですけどね(笑)。ただ他チームとの対抗試合だけは月1回ペースで行っています。フットサルは学生だけでなく、社会人チームも多くあり、探せばけっこういろんなところの大会にも出場できるんですよ」



フットサルというスポーツが好きだから 常に上を目指したい！

ところで彼らのチーム名「Woods Bear」には、どんな意味が込められているのでしょうか？「別に深い意味はありません。最初はドイツ語とかを使ったもっとカッコいい名前にしようとしていたんです。で、いろいろ候補を挙げてみたんですが、どれもよく覚えられなくて(笑)。そんなときに誰かが「森のクマさん」がいいと言い出した。それじゃあいくらなんでもなんて気がしたんですが、これを横文字にしてみたところ響きが良かった。それで決まりました」

と加納君。キャラクターも作りやすく、今ではメンバー一同がこの名前に愛着を感じているそうです。

ここで今年度、「Woods Bear」がどのような活動を行ってきたのか紹介してみましょう。



▲チームの肝玉お姉さん？ 磯崎陽子さん(環境情報学科3年)

4月是新入生勧誘の時期。メンバーたちのアノ手コノ手を駆使した(?)勧誘活動により、今年は男子14人、女子マネージャー2人が入りました。以降、水曜日の午後に練習、土日は対抗試合というペースで彼らの活動は本格的にスタートします。

5月には横浜センター北にある競技場で行われたフットサル大会に参加。社会人チームも含めた計16チームが出場する中、「Woods Bear」からは2チームが出場。うち1チームが見事に準優勝となりました。

6月の第3回MI-TECH横浜祭では、フットサル大会を自ら企画。学内には「Woods Bear」以外にもごくごく身近な仲間だけでフットサルのチームを組んでいる学生たちがいるようで、そうしたチームや他大学のサークルに参加を呼び掛けたところ、かなりの盛り上がりとなりました。もちろん「ホーム」で負けるわけにはいかず、このとき「Woods Bear」から参加した3チーム中の1チームが見事に優勝しました。



▲1年生のまとめ役。加藤雄大君(環境情報学科1年)

7月は前期納会。8月には銚子市で3泊4日の合宿を張りました。内容的にかなりハードだったらしく、この合宿を経た後、新メンバーの技術はぐっと向上したそうです。「合宿は重要。毎年帰ってくるで見違えるほどうまくなっていますから。もちろん強固なチームワークを形成する場としても欠かせません」そう望月君は言います。

9月は通常どおりの練習を行い、10月から12月にかけては実戦での技術向上を図るため、サークル内で4チームに分けてのリーグ戦を実施。実は取材に訪れたときもこのリーグ戦の真っ只中だったのですが、優勝チームはサークル室に写真が飾られるなどの特典があるせいか、非常に白熱したゲームを繰り広げていました。「12月には計70チームが出場するカレッジリーグに参加しますから、その練習もあってみんな一生懸命にやっています。ボクらが参加する大会の中ではいちばん大きな大会ですから、何としてもいい成績を残したいんです」。来年度の会長を任された齊藤隆之君(環境情報学科2年)です。

ざっと駆け足で「Woods Bear」の年間スケジュールを紹介しましたが、新設サークルとはいえ、彼らの活動が体育会に所属する部と同様に充実していることがわかっていただけたことでしょう。

最後に彼らへ、サークルとしてではなく、体育会所属の部として活動を行うつもりはないのかを聞いてみました。「フットサルは、言ってみれば少人数の仲間のできる気楽なサッカー。部になってしまうと、その気楽さが薄れてしまいそうな気がします。フットサルが好きだからもっと上のレベルを目指して自分たちの力をためたい。そのためには体育会の仲間入りをしたいですね」と加納君。なるほどフットサルを楽しむには今の「Woods Bear」のような形態を保ちつつ、さらに一方で体育会のような厳しさも必要なのですね。彼らがいかにフットサルというスポーツを理解し、また愛しているのかがうかがえる言葉でした。



▲得点よりムードづくりに貢献。片桐達也君(機械工学科2年)



▲次期会長の齊藤隆之君は、筋金入りのサッカーフリーク

キャンパス トピックス

横浜キャンパスで クリーンキャンパス運動実施へ

新聞会 吉村 賢(環境情報学科3年)

最近、巷では学生達のマナー・モラルの低下が著しいと騒がれています。横浜キャンパスでも、学内や中川駅からの通学路において空き缶、タバコの吸い殻の投げ捨てが目につき、環境美化が失われつつあります。これらのゴミ全てが本学学生によるものでないと思いますが、学生自身が清掃作業を行うことにより社会的モラルの向上を期待するという目的で、クリーンキャンパス運動を行うこととなりました。これは各クラス・研究室単位に平成11年10月1日～平成11年12月20日の間で清掃日を割り当て、学内と学外(横浜キャンパスから中川駅



までの道路沿い)を昼休みの時間を利用して清掃するというものです。

実際にクリーンキャンパス運動を体験してみた感想は、学外はやはりと言うべきか、吸殻や空き缶などのゴミが多く目立ち、規定の時間内では駅までたどり着くことが出来ないほどでした。学内は、清掃員の方々が毎日綺麗にしてくださっているお陰もあり、ゴミの投げ捨ては少ないように思われました。しかし、タバコの吸い殻については、ゴミ箱の側に投げ捨ててあることも多く見受けられました。

来年度以降もこの運動は続けていく予定ですが、常識が常識でなくなってきた昨今、今一度モラルやマナーについて再確認し、少なくとも近隣住民から苦情等、寄せられる事がないようにしたいものです。

環境ISOフォーラムについて

環境ISOフォーラム実行委員会 学生代表 佐藤千佳(環境情報学科2年)

1999年10月16日(土)環境情報学部・横浜キャンパスにおいて環境ISOフォーラムが開催されました。横浜キャンパスでISO14001の認証を取得したのが昨年の10月28日でした。このフォーラムは、それから1年を経た現状とこれまでどのような活動をしてきたのかとい



(写真提供/新聞会)

うことを多くの方に知ってもらいたいというねらいを持っていました。午前中にISO学生委員会の学生による4部会(省資源部会・省エネルギー部会・環境管理部会・環境教育部会)の報告会、午後には環境庁地球環境部長の浜中裕徳氏・横浜市環境事業局事業推進部ごみ政策課長の石渡雅和氏による講演会、同市環境事業局員と学生・市民との話し合い(分科会)という3部で構成され、学部の学生以外にも多くの方々に参加して頂くことが出来ました。各部会活動の報告や外部からの参加者に対してのキャンパスツアーなどはISO学生委員会の学生によって行われました。今までISO学生委員会では部会活動が中心で全体での企画を行うことがなかった為、準備不足で色々反省点があります。しかし、今回のフォーラムを通じてこれまでの活動を振り返り、問題点や反省点、これからの課題などを明確にすることが出来ました。そしてフォーラムでの反省を含め、これからのISO学生委員会や各部会での活動について考えるよい機会となりました。ISO14001の認証取得以前は、それに向けての明確な目標がありましたが、これからはキャンパス内での継続的な環境の改善に向けて新たな目標を設定し、それに向かって活発な活動を展開していきたいと思います。

セクシュアル・ハラスメントについて

改正男女雇用機会均等法が平成11年4月1日から施行されました。これに伴い、標記の件は、一般の会社や官庁のみならず大学においても話題となっております。セクシュアル・ハラスメントについては大学もその例外でなく、国公立大学ではすでに文部省からの通達により、その防止策、対応が求められております。

本学においても教職員に対し、その防止等について周知、徹底を図るべく検討をしております。しかし、この問題は結果的に、各自の自覚(認識)の問題に帰着するものであります。したがって、院生・学生諸君におきまして、お互いにセクシュアル・ハラスメントとして問題となる言動のなきよう、十分な配慮をお願い致します。

なお、本学としてもこのための相談窓口を設け、下記の先生方を相談員として対応することに致しました。

セクシュアル・ハラスメントに関する相談は、秘密厳守で受け付けることになっております。相談は必ずしも自分の名を名乗る必要もなく、また、どのような方法でも結構です。決して、本人にとって負担になるような事のないよう配慮しておりますので、お気軽にご相談ください。

過ごし易く、明るいキャンパスであるよう、学生諸君の多大なる協力をお願い致します。

●相談受付窓口

相談員	受 付
佐藤 シヅ子 (工学部 助教授)	世田谷キャンパス1号館7階 TEL:03-3703-3111 内線2364 E-mail:sato@ma.ns.musashi-tech.ac.jp
中村 雅子 (環境情報学部 助教授)	横浜キャンパス3号館5階 TEL:045-910-2596 (直通) E-mail:masako@yc.musashi-tech.ac.jp

【課外活動短評】

●硬式野球部

東都大学野球リーグ春季リーグ戦4部において優勝を果たし、入れ替え戦の結果、3部昇格を成し遂げた。

●ラグビー部

関東理工系大学リーグ戦において全勝優勝し、また、全国地区対抗ラグビー大会関東1区リーグ戦において全勝優勝を果たし、5年連続全国地区対抗大会出場を成し遂げた。

●バスケットボール部

関東男子学生バスケットボール理工系リーグ戦2部において2位となり、入れ替え戦の結果、1部昇格を成し遂げた。

●卓球部

関東学生春季リーグ戦5-B部において優勝を果たし、入れ替え戦の結果、4部昇格を成し遂げた。

●ソフトボール部

東京都大学ソフトボール春季リーグ戦4部において優勝を果たし、入れ替え戦の結果、3部昇格を成し遂げた。

●ゴルフ部

平成11年度関東大学対抗春季リーグ戦7部Gブロックにおいて2位となりFブロックに昇格。また、同秋季リーグ戦7部Fブロックにおいて優勝を果たし、Eブロック昇格を成し遂げた。

【緊急奨学金】

平成11年度奨学生として下記の2名が採用され、授業料の半額が貸与されました。

- 石倉真和(建築2年) ●小島隆人(電気3年)

●自動車部

第3回関東学生対抗軽自動車6時間耐久レースにおいて、22台中第6位(総合30台中12位)という成績を残した。

●鉄道研究部

例年通り「電車とバスの博物館」からの依頼を受け、今年もNゲージ大運動会を行い、例年を上回る入場者があり、大盛況に終わった。

●スカイスports同好会

水島仁君(機4)が全日本パラグライダー選手権において、総合第4位という成績を修めた。

●ゼフィルススキー同好会

石田喜弘君(機4)が第26回SIG学生基礎スキー技術研修発表会において、ポール7位、小回り2位、総合第4位という成績を残した。

事務局便り

後援会の専任事務を担当させていただくことになってから、はや1年が経ちました。

この1年間の学校行事を通し、事務局の皆様のご指導の下、後援会の役割について把握して参りました。会員の皆様のバックアップがあってこそ豊かな学生生活。私もその一助となるべく努力していく所存でございます。今後とも、皆様のご協力・ご支援をお願い申し上げます。

後援会専任事務 栄枝まゆみ



平成11年度「大学と父母との連絡会」について

平成11年度の「大学と父母との連絡会」は7月18日(日)沖縄の那覇市を皮切りに、9月25日(土)の東京・横浜地区までの間、全国24会場において開催されました。各会場の出席状況は下記のとおりで、各地において評議員の方々には運営等にご協力いただきました。

■平成11年度「大学と父母との連絡会」出席状況

開催地	開催日	会場名	対象県	対象者数	出席者数	出席率	平成10年度
札幌	9月5日(日)	ホテル330グランド札幌	北海道	55人	15人	20.0%	28.8%
仙台	9月4日(土)	ホテルサンルート仙台	青森	14	2	14.3	0
			岩手	18	4	16.7	0
			秋田	18	5	16.7	42.1
			宮城	35	11	31.4	52.6
郡山	9月5日(日)	ホテルハマツ	山形	17	4	17.6	0
			福島	65	21	24.6	26.2
水戸	9月11日(土)	三の丸ホテル	茨城	155	38	17.4	17.6
宇都宮	9月12日(日)	チサンホテル宇都宮	栃木	100	40	30.0	21.6
東京 横浜	9月25日(土)	武蔵工大 世田谷キャンパス	東京	1257	181	11.4	12.1
			神奈川	1667	245	10.8	12.5
		武蔵工大 横浜キャンパス	千葉	331	54	10.9	12.2
			埼玉	373	75	12.6	14.3
高崎	9月5日(日)	ホテルメトロポリタン高崎	群馬	71	24	28.2	19.4
新潟	9月4日(土)	ホテルイタリア軒	新潟	73	11	12.3	23.1
甲府	9月12日(日)	古名屋ホテル	山梨	73	32	32.9	32.9
松本	9月11日(土)	松本グリーンホテル	長野	128	36	21.9	19.0
富山	9月4日(土)	第一イン富山	富山	40	15	35.0	30.0
金沢	9月5日(日)	金沢東急ホテル	石川	30	16	43.3	32.4
			福井	12	6	25.0	33.3
静岡	8月29日(日)	ホテルセンチュリー静岡	静岡	241	99	32.4	34.5
浜松	8月28日(土)	オークラアクティホテル浜松					
名古屋	9月5日(日)	名古屋丸の内東急イン	愛知	48	13	20.8	25.9
			岐阜	14	4	14.3	26.3
			三重	22	12	36.4	20.0
			滋賀	10	2	20.0	0
大阪	9月4日(土)	大阪第一ホテル	京都	7	0	0	0
			大阪	14	4	21.4	50.0
			奈良	0	0	0	0
			和歌山	4	1	25.0	16.7
			兵庫	9	2	22.2	23.1
岡山	8月29日(日)	ホテルグランヴィア岡山	岡山	19	3	15.8	20.8
			鳥取	7	0	0	16.7
広島	8月28日(土)	広島ワシントンホテルプラザ	広島	49	19	34.7	33.3
			島根	12	2	8.3	18.2
			山口	18	4	16.7	42.9
高松	9月5日(日)	グリーンホテル川照	香川	9	1	11.1	25.0
			徳島	19	2	10.5	23.5
			愛媛	24	3	8.3	10.5
高知	9月4日(土)	高知ホテル	高知	28	10	35.7	25.9
福岡	8月29日(日)	ホテルステーションプラザ	福岡	49	28	40.8	41.1
			佐賀	7	0	0	11.1
			長崎	7	0	0	20.0
			大分	18	5	22.2	36.8
			熊本	5	5	80.0	28.6
宮崎	8月28日(土)	宮崎観光ホテル	宮崎	21	16	52.4	52.2
			鹿児島	16	1	6.3	21.4
那覇	7月18日(日)	西武オリオンホテル	沖縄	19	17	47.4	33.3
			外国等	145	2	1.4	1.1
			合計	5373	1090	15.2	16.7